

2011 年度国際交流基金賞 日本語部門 受賞記念講演会

カイロ大学文学部日本語日本文学科

代表：カラム・ハリール学科長

「エジプトの日本語教育とカイロ大学の歩み」

2011 年 10 月 13 日（木）16：00～18：00

国際交流基金日本語国際センター（さいたま市）



カイロ大学正門

カイロ大学文学部校舎



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金

エジプト日本語教育の沿革

1969年、在エジプト日本大使館に一般社会人向けの日本語講座が開設され、同年よりエジプトの日本語教育が始まる。現在、同講座は国際交流基金カイロ日本文化センターにて継続されている。1974～1975年度にはアラブ世界で初めてとなる日本語専攻コースがカイロ大学文学部に開設され、現在に至る。90年代に入ると、大学の観光学部などで選択科目として、日本語を教える教育機関が増え始め、現在では3つの大学で主専攻として日本語が教えられているほか、エジプト国内11の機関で選択科目や一般講座として日本語教育が実施されている。

現在のエジプトにおける日本語教育機関として

- 国際交流基金カイロ日本文化センター
- アインシャムス大学
- アレキサンドリア大学
- ヘルワン大学
- ミスル科学技術大学
- セッタ・オクトーバー観光・ホテル高等学院（学部相当）
- シナイ観光・ホテル高等学院（学部相当）
- イゴス学院（学部相当）
- ルクソール観光・ホテル高等学院（学部相当）
- セッタ・オクトーバー大学
- ナリタアカデミー
- NPO 日本芸術文化協会
- カイロ大学文学部日本語日本文学科

エジプト日本語教育背景

日本人観光客の増加を背景に、日本語ガイドやツアーオペレーターなど観光関連業種への就職を希望して日本語学習を始める学習者が多い。一般に日本語を話せることが観光ガイドの資格取得や旅行代理店就職など具体的な利益につながるとかんがえられており、自らの意思で日本語学習を始める学習者が多いので、学習意欲は総じて高い。アニメやドラマなどポップカルチャーへの興味から日本語学習を始める学習者はそれほど多くない一方で、日本語学習を通じて日本文化やポップカルチャーに興味を持つようになる学習者は多い。

学習の特徴

- 自らの意思で積極的に日本語を学ぼうとする人が多い。
- 会話指向が強い。
- 試験の点数へのこだわりが強い。(試験での失敗を恐れるあまり、リスクを負って、少し上のレベルへの挑戦を避ける傾向が強い。)
- 暗記が得意。

日本語教育上の問題点や課題

日本語教師の人材不足。大学の正規教員を含め一般的に教員の給与は極めて低く、金銭的には魅力的な職業ではない。そのため、多くの学生は高い収入が見込めると考えられている観光ガイドなどへの就職を希望し、エジプト人の日本語教師が育たない。また、現地雇用の日本人教師は経済的に行き詰まり1～2年で帰国してしまうケースが多い。大学の観光学部などで日本語を導入したいという話をよく聞くが、エジプト全体でまだ教師の人材が少ない。

エジプト日本語教育の普及の今後の展望

エジプトは常に日本人観光客向けの日本語ガイドの需要があるため、今後も日本語学習者の数は増加するものと思われる。過去の日本語ブームのピークは過ぎているが、全体としては日本語教育の供給よりも需要のほうがいまだ上回っている。近年のインターネットの普及と高速化は日本からポップカルチャーの流入をさらに加速化させ、日本政府の取り組みと相まって、日本語学習者は今後もゆるやかに増加していくものと思われる。

カイロ大学文学部日本語日本文学科組織

- 学科国際交流コーディネーター
- 学科ゼミコーディネーター（毎月研究会開催など）
- 学科奨学金コーディネーター（東京財団など）
- 学科交換留学生コーディネーター
- 学科図書室コーディネーター（図書整理・本の貸出など）
- 日本の大学との協定校コーディネーター
- 日本語スピーチ大会コーディネーター
- 学科学部生相談役
- 学科大学院生相談役

本学科教員の構成とその専門

- 教授（3名）日本文学、日本思想、日本語言語学
- 准教授（4名）日本文学、日本思想、日本語言語学
- 専任講師（3名）日本文学、日本思想、日本語言語学
- 助講師（4名）大学院予備コースでの研究
- 助手（15名）教員を手伝いながら、大学院コースに入学するための準備
- 語学講師（4名）基礎日本語を教える
- 日本人語学客員講師（2名）基礎日本語、会話、作文を教える

本学科学生数

学部：各学年 20～25 名
大学院(1994年5月設立)
予備コース(1年間)8名
修士課程(2年間)3名
博士課程(3年間)2名

カイロ大学文学部日本語日本文学科カリキュラム

学年	科目名	時間／週	
1年生（前期）	アラビア語	2	
	英語	2	
	エジプト社会	2	
	日本文化	2	
	日本語文体	4	
	日本語文字・語彙	4	
	日本語音声	4	
	日本語作文	5	
	1年生（後期）	日本語文法	4
		日本語会話	5
日本語購読		4	
漢字		4	
	計	48	

学年	科目名	時間／週
2年生（前期）	アラビア語	2
	英語	2
	近現代哲学	2
	科学思想	2
	日本語文体	4
	日本語文法	4
	日本語作文	5
	日本文学入門	4
	2年生（後期）	漢字
日本語購読		4
日本語会話		5
日本研究（日本社会）		4
	計	48

学年	科目名	時間一週
3年生（前期）	アラビア語	2
	英語	2

	翻訳	2
	日本語文法	4
	日本語購読	5
	日本近代思想	4
	近・現代日本文学史	4
3年生（後期）	日本語作文	5
	新聞購読	4
	日本文学（古代・中世）	4
	日本研究（民族文化）	4
	計	44

学年	科目名	時間／週
4年生（前期）	アラビア語	2
	英語	2
	日本語購読	2
	新聞購読	4
	翻訳	5
	日本文学（古代・中世）	4
	近・現代日本史	4
4年生（後期）	日本文学購読	5
	日本思想（古代・中世）	4
	日本研究（現代文化）	4
	日本語学	4
	計	44

大学院カリキュラム（修士課程コース）

	科目名	時間／週
1年生（前期）	方法論	3 必修
	日本文学研究	3 必修
	日本史	3 選択
	日本文学購読	3 選択
	一般言語学	3 他学科との 共通課目
1年生（後期）	日本文学研究	3 必修
	日本語研究	3 必修

	日本民俗文化研究	3 選択
	応用言語学	3 選択
	文学評論	3 他学科との 共通課目
二年次通年	修士論文作成	

大学院カリキュラム（博士課程コース）

	科目名	時間／週
1年生（前期）	日本思想研究	3 必修
	日本文学研究	3 必修
	日本語学研究	3 必修
1年生（後期）	日本比較文化研究	3 選択
	日本芸術研究史	3 選択
	比較文学研究	3 他学科との 共通課目
	比較言語学	3 他学科との 共通課目
二、三年次通年	博士論文作成	

日本への留学状況について

学部3年の内7名が交換留学生として留学中。
国費留学生として日本の大学院に5名留学中。

カイロ大学日本語学科と交流のある機関名

- 在エジプト日本国大使館広報文化センター
- 国際交流基金カイロ日本文化センター
- 日本学術振興会カイロ研究連絡センター (JSPS)
- 公益財団法人 東京財団
- 独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)
- 財団法人 日本国際青年文化協会
- 財団法人 平和中島財団
- 特定非営利活動法人 ジャパン・リターン・プログラム (JRP)
- 公益財団法人 博報児童教育振興会
- 筑波大学 北アフリカ研究センター
- みやうち着物学院
- 真如苑 社会交流部
- 独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
- カイロ日本人学校
- NPO カイロ大学日本語学科卒業生協会
- NPO カイロ日本人会
- 京都日本文化研究センター
- 同志社大学一神教学院研究センター
- 九州大学カイロオフィス
- NPO 日本芸術文化協会
- 人間文化研究機構—国文学研究資料館
- 在エジプトアインシャムス大学日本語学科
- 在エジプトミスル科学技術大学日本語学科
- 在エジプトヘルワン大学日本語コース
- 在エジプト観光ホテル学院日本語コース
- サウジアラビアアーキングサウド大学
- 在エジプト エジプト - 日本科学・技術大学 (E-JUST)

カイロ大学日本語学科との協定校

基本的に日本の大学との留学生交換、教員交換、シンポジウム開催交換、学術書物交換など。

- 早稲田大学
- 大阪大学（大阪外国語大学との統合による）
- 東京外国語大学
- 東京大学
- 北海道教育大学
- 拓殖大学
- 創価大学
- 桜美林大学
- 関西大学
- 駒澤大学
- 筑波大学
- 横浜国立大学
- お茶の水大学
- 九州大学
- 同志社大学
- 沖縄国際大学

卒業後の進路

- 大学助手
- 大学院に入学
- 日本への留学
- 非常勤で他の大学で日本語を教える
- 民間会社での通訳・翻訳
- 日本の会社・企業への就職
- エジプトの会社・企業への就職
- 観光ガイド
- 観光業(ホテル、お土産屋への就職など)

スクールカレンダー 2011-2012年度

2011年 9月 17日(土)前期開始

2011年 11月 5日(土)イスラム教犠牲祭休み開始(移動祝日)

2011年 11月 11日(金)イスラム教犠牲祭休み終了(移動祝日)

2012年 1月 26日(木)前期終了

2012年 1月 28日(土)中間休み開始

2012年 2月 9日(木)中間休み終了

2012年 2月 11日(土)後期開始

2012年 4月 14日(土)薫風祭休み開始(移動祝日)

2012年 4月 19日(木)薫風祭休み終了(移動祝日)

2012年 7月 7日(土)後期終了

カイロ大学文学部日本語日本文学科36年の歩み

- 昭和48年(1973年)・第四次中東戦争・石油危機が起こる。
- 昭和49年(1974年)・国際交流基金より教官派遣開始。1名派遣。
・3月 カイロ大学文学部内に自由講座として週4時間の日本語講座が開講。
・同9月 カイロ大学文学部日本語日本文学科開設。
・第1期生入学。
- 昭和51年(1976年)・1月より国際交流基金から教官2名派遣。
- 昭和52年(1977年)・後半より国際交流基金から派遣専門家4名体制。
- 昭和53年(1978年)・第1期生卒業。
・日本語日本文学科の第一回の助手。3名。
・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和54年(1979年)・日本政府文化無償資金協力プロジェクトより視聴覚教材の寄贈。
・第1回国費留学制度開始。3名留学。
・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和55年(1980年)・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和56年(1981年)・第1回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本へ研修旅行。
- 昭和57年(1982年)・第2回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和58年(1983年)・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和59年(1984年)・創立10周年を迎える。
・世界連邦日本宗教委員会の招致により日本研修旅行。
- 昭和60年(1985年)・3月 エジプト日本週間参加。
・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 昭和61年(1986年)・10月 国費留学生として日本に留学していた2名帰国。
・10月 エジプト日本週間参加。
・日本国際青年文化協会のカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 昭和62年(1987年)・ソブヒ・アブデル・ハーキム元文学部長兼務日本語学科長、学科設立の功績により勲一等旭日大綬章を受賞。
・10月 国費留学生として日本に留学していた2名帰国。
・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本

研修旅行。

- 昭和 63 年（1988 年）
- ・第 3 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・10 月 日本政府による国費留学生として初の博士号取得者、1 名帰国。
 - ・国際交流基金より派遣専門家 3 名体制となる。
 - ・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 平成元年（1989 年）
- ・第 4 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・9 月 拓殖大学麗澤会研修団のカイロ大学訪問、文化交流。
 - ・10 月 国費留学生として日本に留学していた 1 名帰国。
 - ・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
 - ・エジプト・ヘルワン大学観光ホテル学部準修士課程日本語コース開設のためカイロ大学日本語学科より 1 名派遣。以降継続派遣。
 - ・エジプト高等教育省認可校セッタオクトーバル観光・ホテル高等学院（学部相当）開設のためカイロ大学日本語学科より 1 名派遣。以降継続派遣。
- 平成 02 年（1990 年）
- ・9 月 拓殖大学の招致により訪日研修団派遣。
 - ・日本政府文化無償資金協力プロジェクトより視聴覚教材の寄贈。
 - ・第 5 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・日本国際青年文化協会のカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 平成 03 年（1991 年）
- ・第 6 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・9 月 拓殖大学の招致により訪日研修団派遣。
 - ・10 月 国費留学生として日本に留学していた 1 名帰国。
 - ・日本国際青年文化協会のカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 平成 04 年（1992 年）
- ・第 7 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・9 月 拓殖大学の招致により訪日研修団派遣。
 - ・10 月 国費留学生として日本に留学していた 1 名帰国。
 - ・10 月 私費留学生として博士号を取得した 1 名を本学科に迎える。
 - ・国際交流基金より派遣専門家 2 名体制となる。

- ・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
- 平成 05 年（1993 年）
- ・第 8 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・日本国際青年文化協会のランゲージスタディプロジェクト及びカルチャースタディプロジェクトにより日本研修旅行。
 - ・拓殖大学と協定締結。
 - ・サウジアラビア・キングサウド大学言語翻訳学部アジア言語学科日本語コース開設のためカイロ大学日本語学科より教師 1 名派遣。以降継続派遣。
- 平成 06 年（1994 年）
- ・創立 20 周年を迎える。
 - ・7 月 大学院開設準備開始。
 - ・大学院開設のために国際交流基金日本研究員教授派遣プログラム開始。
 - ・9 月 初の日本語・日本研究の大学院入試開始。
 - ・10 月 日本語・日本研究の大学院授業開始。
 - ・第 9 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・笹川財団（現日本財団及び東京財団）と協定締結。
- 平成 07 年（1995 年）
- ・第 10 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
- 平成 08 年（1996 年）
- ・3 月 学科紀要『日本・ことばと文化』創刊号発行。
 - ・第 11 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・日本語日本文学科カリキュラム改正。
 - ・エジプト・アレキサンドリア大学文学部観光学科日本語コース開設のためカイロ大学日本語学科より 1 名派遣。以降継続派遣。
 - ・エジプト高等教育省認可校南シナイ観光・ホテル高等学院（学部相当）開設のためカイロ大学日本語学科より 1 名派遣。以降継続派遣。
 - ・私立ナリタアカデミーランゲージスクール（生涯教育コース）に授業協力。
- 平成 09 年（1997 年）
- ・8 月 学科紀要『日本・ことばと文化』第 2 号発行。
 - ・第 12 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
- 平成 10 年（1998 年）
- ・第 13 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
 - ・カイロでの第 1 回日本語能力検定を受検。
 - ・東京大学、早稲田大学と協定締結。
 - ・国際日本文化研究センターにカイロ大学日本語学科より初の客員研究員派遣。

- 平成 11 年（1999 年）・創立 25 周年を迎える。
・10 月 私費留学生として博士号を取得した 1 名を本学科に迎える。
・第 14 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・スーダン及びアラブ首長国連邦より各 1 名入学。2003 年卒業。
- 平成 12 年（2000 年）・第 15 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・昭和大学と協定締結。
・エジプト・アインシャムス大学アルスン（外国語）学部日本語学科開設のためカイロ大学日本語学科より 2 名派遣。以降継続派遣。
・私立セッタ・オクトーバー大学言語翻訳学部日本語学科開設のためカイロ大学日本語学科より 1 名派遣。以降継続派遣。
- 平成 13 年（2001 年）・国際交流基金主催第 1 回中東日本語シンポジウムに参加。
・第 16 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
- 平成 14 年（2002 年）・第 17 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・10 月 国費留学生として日本に留学していた 1 名帰国。
・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
・創価大学と協定締結。
- 平成 15 年（2003 年）・第 18 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・10 月 国費留学生として日本に留学していた 1 名帰国。
・沖縄国際大学と協定締結。
・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
・日本語学科卒業生として初の教授職就任。
- 平成 16 年（2004 年）・創立 30 周年を迎える。
・3 月 沖縄国際大学学長、協定締結後の訪問。
・8 月 国際交流基金青年日本語教師派遣プログラム開始。
・9 月 日本人交換留学生のために、日本語学科教師有志による初級アラビア語講座を開講。
・11 月 シンポジウム『エジプトにおける日本研究』開催。
・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
・第 19 回カイロ日本語スピーチ大会開催。
・日本語・日本文学科カリキュラム改正。
・北海道教育大学と協定締結。
・日本語学科卒業生として初の日本語学科長就任。
- 平成 17 年（2005 年）・2 月 『カイロ大学 JAPAN DAY』を開催。日本舞踊、エ

ジプト舞踊、日本の茶道の紹介。

- ・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
- ・私立ミスル科学技術大学言語翻訳学部日本語学科開設のためカイロ大学日本語学科より1名派遣。以降継続派遣。

平成18年（2006年）・日本政府文化無償資金協力プロジェクトより視聴覚教材の寄贈。

- ・シリア・ダマスカス大学より学部生3名入学。2010年卒業。
- ・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
- ・関西大学と協定締結。
- ・沖縄国際大学に客員研究員として教員1名派遣。

平成19年（2007年）・NPO法人日本語学科卒業生協会設立。

- ・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
- ・大阪大学、お茶の水大学、同志社大学、横浜国立大学と協定締結。
- ・国際日本文化研究センターと『Cairo Conference on Japanese Studies』共催。
- ・国際日本文化研究センター主催シンポジウム『日本研究その過去現在と未来』に発表参加。
- ・国際日本文化研究センター主催『日本文化翻訳プロジェクト』に審査員として協力。現在に至るまで協力参加。

平成20年（2008年）・駒澤大学、九州大学、筑波大学と協定締結。

- ・NPO日本芸術文化協会に「日本語生花茶道コース」開設のため学科卒業生協力。

平成21年（2009年）・12月 シンポジウム『イスラーム地域研究の新たな地平』共催。

- ・みやうち着物学院より打掛の寄贈。
- ・第20回カイロ日本語スピーチ大会開催。
- ・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
- ・筑波大学・北アフリカ研究センターに国際共同研究者として教員1名協力。協力期間は2013年まで。

平成22年（2010年）・創立35周年を迎える。

- ・1-2月 国際交流基金主催『The World of YOSHITOMO NARA』展に参加。
- ・2月 国際交流基金主催今井雅晴教授特別講演『日本の宗教：神道と仏教』に参加協力。
- ・2月 国際交流基金主催『日本映画週間』に参加。

- ・6月 国際交流基金主催コンサート『AGA-SHIO from Japan』に参加。
- ・10月 国際交流基金主催日本映画祭『Hiroshima』に参加協力。
- ・10月 国際交流基金主催コンサート『Sound Migration』に参加。
- ・10月 日本財団“100 Books for Understanding Contemporary Japan”より図書寄贈。
- ・11月 国際交流基金主催コンサート『unit asia』に参加。
- ・11月にシンポジウム『エジプトにおける日本研究—過去、現在、未来』開催。
- ・12月 日本財団笹川洋平会長によるカイロ大学訪問。
- ・国際交流基金主催中東日本語教育セミナー参加。
- ・私立イゴス・インスチテュートに授業協力。

- 平成23年（2011年）
- ・4月 MBA 東日本大震災チャリティイベント参加。
 - ・4月 東北関東大地震のチャリティコンサート参加。
 - ・4月 日本人会茶道同好会『チャリティ抹茶カフェ』に参加。
 - ・4月 The Charity Open Day for JAPAN バザー参加。
 - ・6月 The Charity Open Day for JAPAN バザー参加。
 - ・カイロ大学による直接雇用の日本語語学教師、2名。
 - ・国際交流基金主催エジプト日本語教育セミナー参加。

日本語・日本文学科教員 著書・訳書一覧

1) 著書

- ・『日本中世における夢概念の系譜と継承』
カラム・ハリール著 雄山閣 東京 1990年
- ・『日本近、現代における文学運動中世における文学運動
التيارات الأدبية في الأدب الياباني الحديث والمعاصر』
カラム・ハリール著 ヤママ新聞社 サウジアラビア・リヤド 1999年
- ・『エジプトの言語ナショナリズムと国語認識—日本の「国語形成」を念頭において』
サーレ・アーデル・アミン著 三元社 東京 1999年
- ・『1989-1912م شوا تاريخ اليابان الحديث والمعاصر عصر طائشو- 日本近現代史大正・昭和』
ヒシャーム・ハッサン著 マクタブ・エル=アングルー・エル=ミスリーヤ出版社 カイロ 2003年
- ・『قراءة في مجلة المروكو/ السادس من الميجي』
アラー・アリー・ゼイン・エルアブディーン著/訳 日本財団助成金により出版 カイロ 2004年
- ・『التجريب في المسرح اليابان بين الأصالة والمعاصرة (日本実験劇場 - 伝統と現代のはざままで-)』
サーレ・アーデル・アミン著 ダーラ・ミスル・エル=マフルーサ出版社 カイロ 2005年
- ・『دراسات في الفكر والثقافة اليابانية (日本思想文化研究)』
アラー・アリー・ゼイン・エルアブディーン著 ダーラ・リ・ル=ナシャラ・ワ・エル=タウズ
イーウ出版社 カイロ 2007年
- ・『اليابان ثقافة وحضارة (日本:文化・文明)』
アラー・アリー・ゼイン・エルアブディーン著 アラブ首長国連邦副首相情報部 カイロ 2007年
- ・『محمد علي باشا والإمبراطور ميجي مالهما وماليهما النهضة المصرية الحديثة والنهضة اليابانية الحديثة
دراسة المقارنة』ムハンマド・アリと明治天皇二人の功罪』

ヒシャーム・ハッサン著 エル=ダーラ・エル=アーラミーヤ・リル=ナシャル・ワ・エル=ワウズーウ出版社 カイロ 2009年

- ・『نظرات في تعاليم البوذيديو』 (武士道を読む)』
アラール・アリー・ゼイン・エルアブディーン著 ウカーラト・スフィンクス出版社 カイロ 2010年

2) 訳書

- ・『المسرح المعاصر في اليابان』 『日本の現代演劇』 扇田昭彦著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 アラール・アリー・ゼイン・エルアブディーン監修
エジプト文化省出版部 カイロ 1995年
- ・『مشهد على شاطئ البحر』 『海辺の光景』 安岡章太郎著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版社 カイロ 2000年
- ・『نصوص في المسرح الياباني المعاصر』 「弱法師」三島由紀夫著 「舟は帆船よ」山崎正和著
「おまえにも罪がある」安部公房著
ナグラア・ファトフィ・ハーフェズ訳 アフマド・モハンマド・ファトフィ監修 カイロ
国際実験演劇祭出版部 2000年
- ・『الواجب المدرسي』 『宿題』 安岡章太郎著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版社 カイロ 2000年
- ・『البشارة』 『蛾』 安岡章太郎著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版社 カイロ 2002年
- ・『المدرسة الأمريكية』 『アメリカンスクール』 小島信夫著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版社 カイロ 2002年
- ・『تسوجومي』 『つぐみ』 吉本ばなな著
アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版社 カイロ 2003年

- ・ 『سيرة الأمير جينجي』 『源氏物語』 紫式部著 瀬戸内寂聴抄訳
 アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 メレット・リル・ナシャル・ワ・マアルーマーツ出版
 社 カイロ 2004年
- ・ 『يوميات راهب ياباني هو جوكى』 『方丈記』 鴨長明著
 サーレ・アーデル・アミン訳 ダーラ・マスル・エル=マフルーサ出版社 カイロ
 2004年
- ・ 『قطرات الماء』 『水滴』 目取真俊著
 アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 サナーベル出版社 カイロ 2005年
- ・ 『حلاق الشرق』 『浅草鳥越あずま床』 井上ひさし著
 ワリード・ファルーク・イブラーヒーム訳 ダーラ・マスル・エル=マフルーサ出版社
 カイロ 2005年
- ・ 『طيور الخريف』 『百人一首』
 アフマド・モハンマド・ファトフィ訳/解説 ナワーフィズ翻訳開発シナリオ協会 カイ
 ロ 2009年
- ・ 『الساموراي العظيم』 『義経記』
 アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 ナワーフィズ翻訳開発シナリオ協会 カイロ
 2009年
- ・ 『التاريخ السياسي لليابان إبان الحرب العالمية الثانية』 『戦時日本の精神史』 鶴見俊輔著
 アラー・アリー・ゼイン・エルアブディーン訳 シハーブ・アブド・エル=アズィーズ監修
 ウカーラト・スフィンクス カイロ 2009年
- ・ 『الخطاب وأميرة القمر: سيرة شعبية يابانية』 『竹取物語』
 アフマド・モハンマド・ファトフィ訳 ナワーフィズ翻訳開発シナリオ協会 カイロ
 2011年
- ・ 『فارب الترحيلات』 『高瀬船』 森鷗外著
 ワーエル・オラービ訳 ナワーフィズ翻訳開発シナリオ協会 カイロ 2011年

3) 教材・辞書

- ・ 『اللغة اليابانية للناطقين بالعربية』 アラブ人のための日本語』
シハーブ・ファーリス編 シハーブ・ファーリス、カラム・ハリール、阿部俊之共著
アフラーム新聞社 2000年
- ・ 『日本語・アラビア語 語彙対照研究に基づく アラビア語シソーラス
تصنيف مفردات اللغة العربية』
ワリード・ファルーク・イブラヒム著 絢文社 東京 2003年
- ・ 『صوتيات اللغة اليابانية للمصريين』 エジプト人のための日本語音声』
ハナーン・ラフィーク・ムハンマド・エル=カーウィーシュ著 ダール・キバール出版社
カイロ 2004年
- ・ 『اللغة اليابانية تصريف الأفعال للمبتدئين』 日本語動詞練習帳』
吉田昌平、小田切由香子、サーレ・アーデル・アミン共著 エル=ハイアト・エル=アラ
ビーヤ・エル=アールム・エル=クトブ出版社 カイロ 2005年
- ・ 『الماهر معجم ياباني عربي』 アルマーヒル 日本語アラビア語辞典』
マーヒル・エルシリビーニー著 エル=ハイアト・エル=アラビーヤ・エル=アールム・エ
ル=クトブ出版社 カイロ 2006年
- ・ 『نحو اليابانية لناطقى العربية』 アラビア語話者のための日本語文法』
ワリード・ファルーク・イブラヒム著 ダーラ・エル=アミン出版社 カイロ 2006年